

## 取扱いの趣旨

ランソプラゾール又はエソメプラゾールマグネシウム水和物は、血栓・塞栓の形成抑制のために低用量のアスピリンを継続投与している患者への投与は、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往が確認できない場合、原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和7年1月31日》

430 低用量アスピリン投与時におけるランソプラゾール及びエソメプラゾールマグネシウム水和物の算定について

### ○ 取扱い

低用量アスピリン投与時における、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がレセプトで確認できない場合の次の薬剤の算定は、原則として認められない。

- (1) ランソプラゾール【内服薬】（タケロンカプセル等）
- (2) エソメプラゾールマグネシウム水和物【内服薬】（ネキシウムカプセル等）

### ○ 取扱いを作成した根拠等

ランソプラゾール（タケロンカプセル等）又はエソメプラゾールマグネシウム水和物（ネキシウムカプセル等）のうち、「低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制」の適応がある薬剤については、添付文書で投与に際しての注意事項として「血栓・塞栓の形成抑制のために低用量のアスピリンを継続投与している患者を投与対象とし、投与開始に際しては、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往を確認すること。」と示されている。

以上のことから、低用量アスピリン投与時に胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がレセプトで確認ができない場合のこれら医薬品の算定は、原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	山梨、栃木、沖縄、広島、香川、福島、群馬、岩手、佐賀、千葉、静岡、北海道、和歌山、岡山、大阪、新潟	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	福島、佐賀、栃木、沖縄、和歌山、香川、大阪、千葉、岩手、群馬、静岡、岡山、新潟、広島、北海道	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	山梨、福島、岩手、栃木、大阪、千葉、新潟、北海道、群馬、広島	〃

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・再発抑制のコメントより、胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往の患者であることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）  
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）  
⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年7月～2025年9月審査分

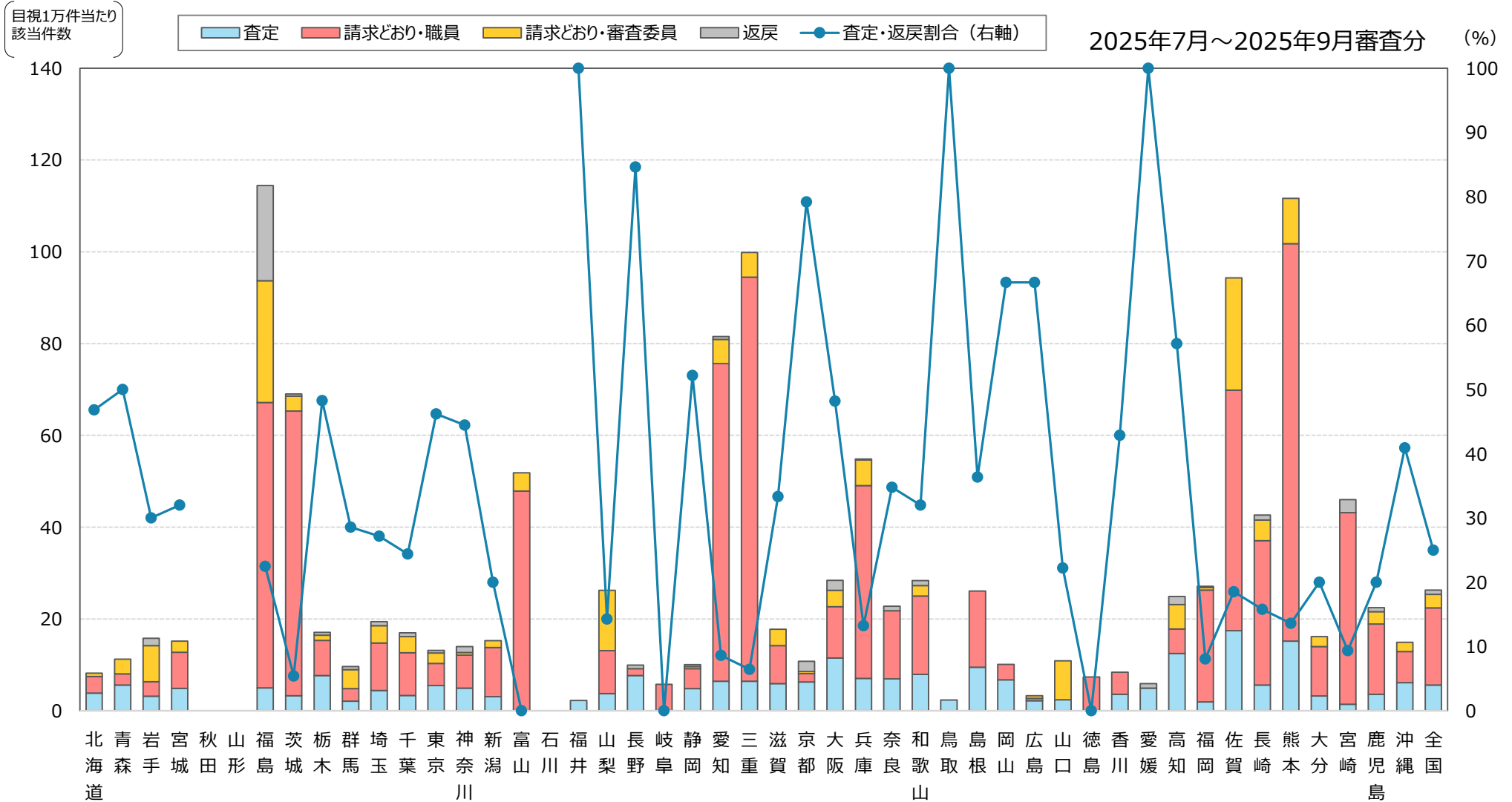
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,603件のうち、**取扱いと異なる審査は202件（7.76%）**  
検証対象41都道府県のうち、**フォローアップ対象は16都道府県**

都道府県	検証結果										
	計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	47	41	87.23%	22	0	22	19	6	12.77%	2	4
02 青森	14	13	92.86%	7	0	7	6	1	7.14%	0	1
03 岩手	10	8	80.00%	2	1	3	5	2	20.00%	1	1
04 宮城	25	24	96.00%	8	0	8	16	1	4.00%	1	0
05 秋田	0										
06 山形	0										
07 福島	138	102	73.91%	6	25	31	71	36	26.09%	29	7
08 茨城	148	139	93.92%	7	1	8	131	9	6.08%	2	7
09 栃木	29	15	51.72%	13	1	14	1	14	48.28%	12	2
10 群馬	14	11	78.57%	3	1	4	7	3	21.43%	2	1
11 埼玉	92	87	94.57%	21	4	25	62	5	5.43%	4	1
12 千葉	82	69	84.15%	16	4	20	49	13	15.85%	9	4
13 東京	158	144	91.14%	66	7	73	71	14	8.86%	14	0
14 神奈川	99	90	90.91%	35	9	44	46	9	9.09%	9	0
15 新潟	20	18	90.00%	4	0	4	14	2	10.00%	1	1
16 富山	26	26	100.00%	0	0	0	26	0	0.00%	0	0
17 石川	0										
18 福井	1										
19 山梨	14	7	50.00%	2	0	2	5	7	50.00%	0	7
20 長野	13	13	100.00%	10	1	11	2	0	0.00%	0	0
21 岐阜	7	7	100.00%	0	0	0	7	0	0.00%	0	0
22 静岡	23	20	86.96%	11	1	12	8	3	13.04%	3	0
23 愛知	417	412	98.80%	33	3	36	376	5	1.20%	5	0
24 三重	93	92	98.92%	6	0	6	86	1	1.08%	1	0

都道府県	検証結果										
	計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	15	14	93.33%	5	0	5	9	1	6.67%	1	0
26 京都	24	23	95.83%	14	5	19	4	1	4.17%	1	0
27 大阪	301	268	89.04%	122	23	145	123	33	10.96%	23	10
28 兵庫	264	257	97.35%	34	1	35	222	7	2.65%	4	3
29 奈良	23	23	100.00%	7	1	8	15	0	0.00%	0	0
30 和歌山	25	22	88.00%	7	1	8	14	3	12.00%	3	0
31 鳥取	1										
32 島根	11	11	100.00%	4	0	4	7	0	0.00%	0	0
33 岡山	18	16	88.89%	12	0	12	4	2	11.11%	2	0
34 広島	6	4	66.67%	4	0	4	0	2	33.33%	1	1
35 山口	9	9	100.00%	2	0	2	7	0	0.00%	0	0
36 徳島	4	4	100.00%	0	0	0	4	0	0.00%	0	0
37 香川	7	5	71.43%	3	0	3	2	2	28.57%	2	0
38 愛媛	6										
39 高知	14	13	92.86%	7	1	8	5	1	7.14%	1	0
40 福岡	99	97	97.98%	7	1	8	89	2	2.02%	1	1
41 佐賀	27	22	81.48%	5	0	5	17	5	18.52%	5	0
42 長崎	38	38	100.00%	5	1	6	32	0	0.00%	0	0
43 熊本	147	146	99.32%	20	0	20	126	1	0.68%	1	0
44 大分	15	14	93.33%	3	0	3	11	1	6.67%	1	0
45 宮崎	32	32	100.00%	1	2	3	29	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	25	25	100.00%	4	1	5	20	0	0.00%	0	0
47 沖縄	22	12	54.55%	9	0	9	3	10	45.45%	10	0
全国	2,603							202	7.76%	151	51

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数